

令和2年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (瀬戸内町)

事業名	諸鈍シバヤ伝承活動	実施時期	10月～11月
趣旨又は目的	<p>(1) ふるさとを大事にする心を持ち、校区に伝わる文化や伝統を深く理解する子どもを育成する。</p> <p>(2) 地域の良さに気づき、伝統文化について自ら知ろうとする意欲を持つとともに、地域の一員としての自覚を高め、地域に貢献する子どもを育成する。</p> <p>(3) 諸鈍シバヤの踊りを練習し、例祭の場での発表を通して、シバヤの持つ価値の大きさに触れ、ふるさとに誇りを持つとともに、伝統文化を守り伝えようとする意識を育む。</p>		
参加者	<p>小学生男子7名、中学校男子1名 計8名 男性教職員5名 (女子生徒は学習発表会にてエイサーを披露)</p>		
活動概要	<p>シバヤ保存会の方の指導を受けて、諸鈍シバヤの歴史を学び、踊りの練習を行った。例年は、児童生徒と男性教職員が演目を披露していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で大屯祭が中止になり、大屯神社で披露することができなかった。そこで学習発表会(11月1日)の中でシバヤを披露することとなった。昨年度、2週間毎日練習していたため、ほとんどの児童生徒が覚えていたこともあり、今年度は学習発表会へ向けて合計4回練習をして細かい部分の指導を受けた。一部の児童については昼休み・放課後に練習することもあった。</p> <p>島唄・島口・諸鈍シバヤが地域に絶えず受け継がれてきていることを再確認し、地域を大切にするとともに、伝統文化を守り伝えていくことができている。</p>		
活動写真 [説明]			